

スプリングレビュー調書

学校教育部

【基本政策】

夢と希望をもって学ぶことができる園・学校づくり

【新たな視点による政策提案】

- ◆ 発達支援教育の理念を根幹にした、確かな子ども理解により、一人一人の子どもや保護者が教育上求めているものや必要な教育的なニーズを的確に把握し、それに対して適切な支援をしていくことで、すべての子どもの健やかな成長発達を目指す。
- ◆ 東日本大震災により被災地から避難している子ども達の市立幼稚園・小中学校への受入にあたっては、柔軟且つ速やかに受入を行うとともに、受入れ先の園及び学校での適切な支援対応に努めている。特にこころのケアを必要とする者に対しては、スクールカウンセラーを派遣し、少しでも不安を取り除くことができるよう働き掛けていく。

(4月15日現在の受入状況…幼稚園3人、小学校18人、中学校3人)

【第2次浜松市総合計画の計画期間(H23～26)における主要課題等】

- ◆ 少子化及び一部地域における過疎化による児童・生徒数の減少と学校規模の格差
- ◆ 厳しい社会経済情勢による経済的な理由での就学困難な子どもの増加
- ◆ いじめ、不登校、非行などの問題行動の増加
- ◆ 日本語習得に苦勞をしている外国人児童・生徒への対応、外国人の不就学
- ◆ 軽度発達障がいのある児童・生徒の増加
- ◆ 学力、学習意欲の2極化傾向

特に社会全体における規範意識の低下、人と人のつながりの希薄化、子育てへの関心の低さなどが、人間関係能力、我慢強さや自尊感情の低下など、子どもの心に関する問題に大きく影響を及ぼしている。

【調査・研究を進めている案件、今後調査・研究を計画している案件】

- ◆ 小学1・2年生の30人学級の早期の実現を目指し、国の35人学級の進捗状況を踏まえ実施時期について検討する。
- ◆ 小中一貫教育については、平成23年度からカリキュラムの作成に取り掛かり、平成24年度から各教科・領域の9年間の系統性を踏まえた授業を展開する。
- ◆ ものづくり産業の市民風土を背景に、産学官の連携を図り、地域一体の教育で未来の浜松を担う子どもを育てるため、組織形態などを含む、取り組み方法について研究する。

【協議事項】(案件名を記入してください)

課外特別講座の創設及び理系学力のレベルアップについて

【現状と課題】

(論点とすべき点を下線で強調してください)

各学校では、子どもの能力に応じた指導を行い、学習指導、生活指導において一定の成果をあげている。今後は、理数、外国語、音楽、美術などの各分野において才能豊かな子どもたちをさらに伸ばすシステムが必要である。子どもの理系の才能を伸ばすシステムに関して言えば、平成23年度に静岡大学ものづくり教育支援センター内にある浜松RAIN房が「ダ・ヴィンチ・キッズプログラム」をコーディネートし、子どもの理系の才能を育むことをスタートさせている。今後は、他の分野においてもこのような動きが必要になってくる。

現在、理科授業の充実を図るため実施している理科支援員配置事業については、平成23年度で科学技術振興機構の補助金が終了する。今後、理系学力のレベルアップを図っていくためには、平成24年度以降の実施方法を検討する必要がある。

【課題解決に向けた今後の方向性】

(論点とすべき点を下線で強調してください)

学校の枠を越えた専門性豊かな内容を学ぶことができるよう、理数、外国語、音楽、美術などの課外特別講座を創設する。

【今後の主要事業】

(論点とすべき事業を下線で強調し、別途資料として政策・事業シートを添付してください)

企画部、生活文化部、商工部、学校教育部が連携し「課外特別講座プロジェクト」を創設する。本プロジェクトは、理数、外国語、音楽、美術などの専門家による課外特別講座を実施し、子どもの才能を育んでいくものである。

実現に向けては、次の検討が必要である。

- ・ プログラム内容、講師選定など実施形態を検討する。

なお、本プロジェクトを実現するために、以下の3つのステージを考え、計画的に推移させる。

- 第1ステージ 開発したプログラムを子どもに広く紹介し、複数の会場(地区)で実施する。
- 第2ステージ より高いレベルのプログラムを、子どもに広く紹介し、複数の会場(地区)で実施する。
- 第3ステージ 専門化、高度化したプログラムに進化させ、特別授業を行う。

【論点】

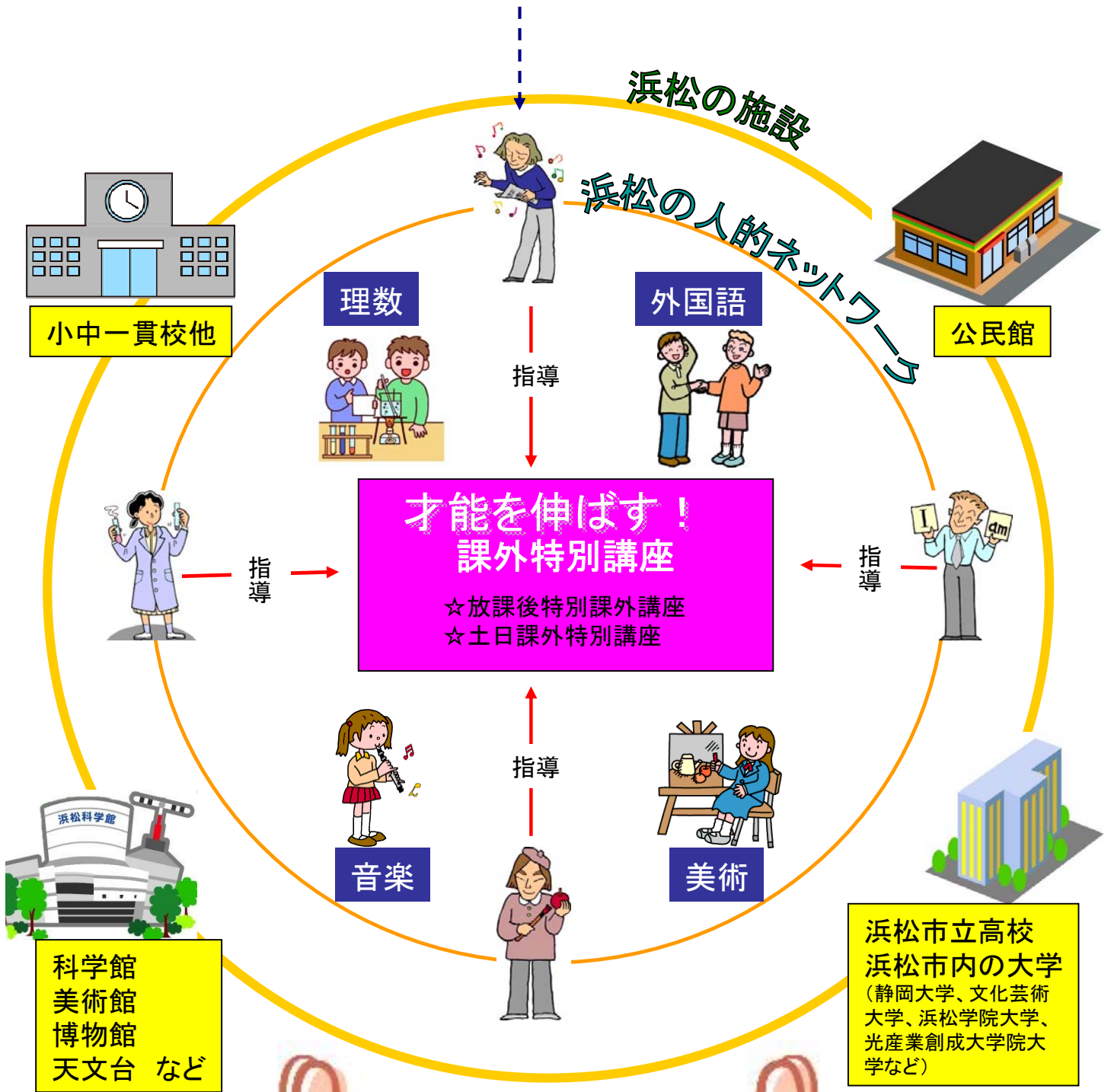
- ◆ 市独自のカリキュラムによる特別指導について
 - 部局が連携する「課外特別講座プロジェクト」の創設について

【協議要旨】

- ◆ 民間と連携し、際立つ能力を有する人材育成の実現に向けた研究を進める。
- ◆ 理数系に加えて音楽やポルトガル語など浜松らしい分野について検討する。

子どもの才能を伸ばす「はままつ課外特別講座」

才能豊かな子どもを
各学校から募集



連携

産

資金・人的支援

学

プログラム開発

官

カリキュラム管理